

# 海津市 6 次産業化推進戦略

令和元年度～令和6年度

令和元年11月

海津市

## 1 はじめに

岐阜県海津市は平成17年3月に岐阜県で21番目の市として誕生しました。

海津市は、岐阜県の最南端に位置し、西部・南部は三重県に、東部は木曽川、長良川を境に愛知県に隣接しています。西部の養老山地のすそ野には扇状地が広がり、揖斐川が縦断する中央部から東部は「輪中」と呼ばれる、河川によってもたらされた肥沃な土壤に培われた豊かな田園地帯が広がっています。

## 2 本市について

本市の総面積112km<sup>2</sup>のうち農地は3,730haで、その約8割を水田が占めています。その中でも「高須輪中」地区は約2,500haの水田を有し、河川の氾濫により運ばれた土砂が沖積した肥沃な土壤に恵まれています。こうした地形の特性から水田での土地利用型農業、温室で施設園芸がさかんになり、その多くが市場を通じて販売されています。

## 3 本市の農業について

### ①土地利用型農業

本市では現在35法人により土地利用型農業がおこなわれております。稲→小麦→大豆の2年3作体系が確立されており、常に農地での農産物の作付がされています。今後、高収益作物である野菜の作付を増やす新しい2年3作体系も推奨し、農家の所得向上と雇用の増加を推進しています。

### ②施設園芸型農業

本市ではJAの施設園芸部会16部会により、野菜の生産がされています。なかでも冬春トマトと夏秋キュウリは岐阜県内で1位の生産量です。

平成26年度に開所した「岐阜県就農支援センター」で毎年トマトでの新規就農を希望する人たちが研修し、これまで11名が本市でトマト農家として就農しています。

### 【新規就農者の推移】

研修年度	研修人数	海津市での 就農人数 ※
H26	4	—
H27	4	4
H28	4	3
H29	4	2
H30	4	2

※岐阜県就農支援センターで研修したトマトの新規就農者のみ

### ③畜産業

本市では、古くから酪農・肥育牛・採卵鶏・肉養鶏・養豚業が営まれています。

特に本市は岐阜県内でも飛騨牛・奥美濃古地鶏の有数の産地となっています。また、本市で飼養されている奥美濃古地鶏は、岐阜県でも最大規模となっているほか、岐阜県が推進しているポーノポークは本市で産まれたものが岐阜県内の農場に出荷され肥育されています。

### 【本市の家畜飼養割合】

畜種	飼養農家数	飼養頭羽数（出荷頭羽数）
酪農	5	527
肥育牛	9	1,031
採卵鶏	4	100,700
肉養鶏	3	124,670
養豚	1	731

※肥育牛農家軒数には、酪農の乳肉複合経営を含む。

## 4 課題

本市が抱える問題として、土地利用型農業・施設園芸型農業・畜産業ともに農業者の高齢化、後継者不足があげられます。

### ①土地利用型農業

本市で営農する法人の大多数が担い手不足に悩んでいます。このような課題を克服するためには、市場ニーズがある品種への切り替えを積極的に行い、安定

した経営ができるよう推進します。これにより、安定して働ける環境をつくることで雇用の増加につなげる必要があります。

また、乾燥施設等の自前の設備を有する法人には、加工や輸出などでの販路拡大についても支援し、経営拡大ができるよう支援していく必要があります。

## ②施設園芸型農業

本市では、岐阜県のトマトの研修施設である「岐阜県就農支援センター」があり、卒業生が毎年海津市内で就農されますが、まだまだ就農人数は少ないため、さまざまな機関でのPRを通じて農業の魅力を発信し、新規就農者やUターンによる就農者を増やしていく必要があります。

## 5 6次産業化の取り組み方針

数多くの品目を生産している本市においては、新たなビジネスチャンスとなる可能性がある品目が多くあります。

本市において6次産業化を推進するため、農業6次産業化促進支援事業費補助金の予算化、また岐阜県やサポートセンターと連携し意欲のある事業者を積極的に支援します。また、事業者には認定農業者となるよう積極的に働きかけます。

### ○対象とする農畜産物

- 土地利用型農業作物 主食用米、業務用米、加工用米など
- 施設園芸作物 なす、いちご、トマトなど
- 畜産物 奥美濃古地鶏、名古屋コーチン、飛騨牛など
- 果樹 富有柿、みかんなど

## 6 6次産業商品

本市では、農業者の取り組みにより既に6次産業化商品として市場流通している商品もあります。これらの販路の拡大と生産の規模拡大のため、本市では具体的に次のとおり支援をします。

### ○加工品 ベーめん（米粉でつくるうどん）

奥美濃古地鶏混ぜご飯の素（奥美濃古地鶏）

ハリヨの柿酢（南濃町の富有柿を使用） など

もみ炭郎（籾殻で作ったバイオマス燃料）

## 7 販路拡大に向けた支援

本市では、農業者の自主的な販路拡大とは別に、6次産業商品として作られた新商品を積極的にふるさと納税の返礼品にも登録します。また、市内に2か所ある道の駅でも販売スペースの確保に協力し販路拡大につなげます。さらに、岐阜県とも協力しアンテナショップである「ギフツプレミアム」での取り扱いについても積極的に働きかけます。

また、新しい市場開拓のため、海外での販売・輸出についても補助事業等の活用を促し、農業者の負担軽減に努めます。

## 8 商談会への参加促進

岐阜県等が実施する商談会の情報を提供することで販路拡大を支援します。現状参加している商談会のほかにも新規に参加し、より多くのバイヤーとの商談の機会を増やします。

## 9 地域の特性を活かした商品開発の方向性

農業者の所得向上と産地の振興に資するため、商品開発を目指す農業者を支援します。なかでも、地域の特性を活かすために、海津市営農協議会及び海津市園芸特産振興協議会で栽培されている作物を使用した加工品の開発を支援することで、本市を代表する新商品が生まれるよう支援します。

### 本市における主要農産物

水稻・麦・大豆・ジャガイモ・キャベツ・トマト・きゅうり・いちご  
春菊・なす・ナバナ・甘長ピーマン・玉ねぎ・モロヘイヤ・豆・みかん・かき  
いちじく・メロン・酪農業・肉用牛・養鶏

## 10 6次産業化に取り組む農業者を支援するための施策

農業者の事業内容にあわせ、東海農政局・岐阜県等と連携し、以下の施策を活用することで事業計画や資金面など支援をします。

### ○補助メニュー

- ・6次産業化ネットワーク活動交付金
- ・岐阜県6次産業化促進支援事業 etc

※それぞれの補助事業の採択要件を満たす場合に活用できます。

海津市6次産業化推進戦略  
岐阜県海津市海津町高須515  
海津市産業経済部農林振興課

TEL 0584-53-1351 / FAX 53-1569